

生活習慣病

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
100001	がん種別罹患率減少 (胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連がん)	がん種別年齢調整罹患率 (胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連がん)	1004	全国がん登録

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000004	がんの年齢調整罹患率減少	がんの年齢調整罹患率	1003	全国がん登録
000001	がんの年齢調整罹患率減少	がんの年齢調整死亡率 (75歳未満、全年齢)	1001	人口動態統計

感染症対策

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
100002	がん種別罹患率減少 (肝・ATL・子宮頸部)	がん種別年齢調整罹患率 (肝・ATL・子宮頸部)	1004	全国がん登録

「がん予防」分野の
分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、**がん罹患率・がん死亡率の減少**を目指す

第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がんの1次予防

生活習慣について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	【国及び地方公共団体】生活習慣について、「次期国民健康づくり運動プラン」に沿った取組を引き続き推進	指標設定無し（厚生労働審議会 地域保健健康増進栄養部会 次期プラン推進専門委員会（仮称）での取組評価を注視）	-	-
111101	【拠点病院等】地域へのがんの予防に関する普及啓発を実施するとともに、必要に応じてがん相談支援センターが窓口となり、病院全体でがんの予防に関する情報を提供できる体制を整備	拠点病院等*で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	-	現況報告書

*、地域がん診療連携拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院（各類型の特例型を含む）。以後、同。

参考：第51回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料1より

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
111201	栄養・食生活①適正体重を維持している者の増加 <small>（肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少）</small>	BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	1018	国民健康・栄養調査
111202	栄養・食生活②食塩摂取量の減少	食塩摂取量の平均値	1019	国民健康・栄養調査
111203	栄養・食生活③野菜摂取量の増加	野菜摂取量の平均値	1020	国民健康・栄養調査
111204	栄養・食生活④果物摂取量の改善	果物摂取量の平均値	1021	国民健康・栄養調査
111205	身体活動・運動①日常生活における歩数の増加	1日の歩数の平均値	-	国民健康・栄養調査
111206	身体活動・運動②運動習慣者の増加	運動習慣者の割合	1017	国民健康・栄養調査
111207	飲酒①生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	1016	国民健康・栄養調査
111208	飲酒②20歳未満の者の飲酒をなくす	中学生・高校生の飲酒者の割合	-	厚生労働科学研究
111209	喫煙①喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	20歳以上の者の喫煙率	1011	国民健康・栄養調査
111210	喫煙②望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	1015	国民健康・栄養調査
111211	喫煙③20歳未満の者の喫煙をなくす	中学生・高校生の喫煙者の割合	1012	厚生労働科学研究
111212	喫煙④妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率	1013	子ども家庭庁からのデータ提供

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実					
分野別アウトカム指標	100001	がん種別年齢調整罹患率（胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連がん）	1004	全国がん登録	
	100002	がん種別年齢調整罹患率（肝・ATL・子宮頸部）	1004	全国がん登録	
	100003	検診がん種別早期がん割合	-	全国がん登録	
	100004	検診がん種別進行がん罹患率	-	全国がん登録	
がんの1次予防					
生活習慣について					
アウトプット指標	111101	拠点病院等*1で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	-	現況報告書	
中間アウトカム指標 【参考】 第51回厚生 科学審議会 地域保健健 康増進栄養 部会資料1よ り	111201	BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	1018	国民健康・栄養調査	
	111202	食塩摂取量の平均値	1019	国民健康・栄養調査	
	111203	野菜摂取量の平均値	1020	国民健康・栄養調査	
	111204	果物摂取量の平均値	1021	国民健康・栄養調査	
	111205	1日の歩数の平均値	-	国民健康・栄養調査	
	111206	運動習慣者の割合	1017	国民健康・栄養調査	
	111207	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	1016	国民健康・栄養調査	
	111208	中学生・高校生の飲酒者の割合	-	厚生労働科学研究	
	111209	20歳以上の者の喫煙率	1011	国民健康・栄養調査	
	111210	望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	1015	国民健康・栄養調査	
	111211	中学生・高校生の喫煙者の割合	1012	厚生労働科学研究	
	111212	妊婦の喫煙率	1013	こども家庭庁からのデータ提供	
感染症対策について					
HPV					
アウトプット指標	112101	HPVワクチンの実施率	-	地域保健・健康増進事業報告	
肝炎					
アウトプット指標	112102	肝疾患専門医療機関数	-	地方自治体における肝炎対策実施状況調査	
	112103	肝炎医療コーディネーターの養成者数	-	地方自治体における肝炎対策実施状況調査	
	112104	B型肝炎定期予防接種実施率	参3	地域保健・健康増進事業報告	
	112201	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	参2	厚生労働科学研究	
中間アウトカム指標	112202	B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	参1	「地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）」及び「特定感染症検査等事業実績報告」	
HTLV-1					
アウトプット指標	112105	HTLV-1関連のホームページの閲覧数（厚労省や厚生労働科学研究班作成のホームページのPV数）	-	厚生労働省調べ	
	112106	HTLV-1関連の窓口数	-	結核感染症課調査	
	112107	HTLV-1の保健所の検査数	-	結核感染症課調査	
	112108	妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の公費負担実施率	-	母子保健課調査	
中間アウトカム指標	112203	ヒト細胞白血病ウイルス1型感染率	参4	厚生労働科学研究	

感染症対策について（HPV）

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
112101	令和4年4月に再開したHPVワクチンの個別の接種勧奨の実施を踏まえ、HPVワクチンの接種状況と子宮頸がんの年齢調整罹患率の国内外の推移を把握し、必要に応じて子宮頸がん検診の指針を見直す等、科学的根拠に基づく子宮頸がん対策を推進	HPVワクチンの実施率	-	地域保健・健康増進事業報告
	令和5年4月から9価HPVワクチンの定期接種を開始し、定期接種及びキャッチアップ接種の対象者に対する、適切な情報提供に基づく正しい理解の促進に取り組む			



感染症対策について（肝炎）

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
112102	肝炎ウイルス検査体制の充実やウイルス陽性者の受診勧奨、普及啓発を引き続き推進	肝疾患専門医療機関数	-	地方自治体における肝炎対策実施状況調査
112103		肝炎医療コーディネーターの養成者数	-	地方自治体における肝炎対策実施状況調査
112104	B型肝炎については、予防接種法に基づく定期接種及びウイルス排除を可能とする治療薬・治療法の開発に向けた研究を引き続き推進	B型肝炎定期予防接種実施率	参3	地域保健・健康増進事業報告

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
112201	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率の増加	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	-	厚生労働科学研究
112202	B型・C型肝炎ウイルス陽性者数の減少	B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	-	「地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）」及び「特定感染症検査等事業実績報告」

感染症対策について（HTLV-1）

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
112105	感染予防対策を含めたHTLV-1総合対策等を引き続き推進	(HTLV-1に関する)患者及びその家族等の目線に立ったわかりやすい情報提供の推進 HTLV-1キャリアやATL・HAM患者に対する相談体制の構築	-	厚生労働省調べ 厚生労働科学研究班作成のホームページのPV数
112106		HTLV-1関連の窓口数	-	結核感染症課調査
112107		HTLV-1の保健所の検査体制の整備	-	結核感染症課調査
112108		妊婦に対するHTLV-1スクリーニング検査の継続（実施率100%の維持）	-	妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の公費負担実施率 母子保健課調査

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
112203	HTLV-1 感染率の減少	ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染率	参4	厚生労働科学研究

その他

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	引き続き、健康で無症状な集団に対する、ピロリ菌の除菌の胃がん発症予防における有効性等について、国内外の知見を速やかに収集し、科学的根拠に基づき、除菌の必要性の有無及びその対象者について検討するとともに、運用上の課題について整理する	検討の段階のため、指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-

受診率向上

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
1000003	検診がん種の早期がん割合の増加	検診がん種別早期がん割合	-	全国がん登録
1000004	検診がん種の進行がん罹患率の減少	検診がん種別進行がん罹患率	-	全国がん登録

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
0000002	検診がん種の死亡率減少	がん種別年齢調整死亡率 (75歳未満、全年齢)	1002	人口動態統計
0000005	がん罹患率 (子宮頸・大腸)*; 減少 ※	がん種別年齢調整罹患率	1004	全国がん登録

*; 上皮内がん除く。
※がん検診により子宮頸部・大腸の前がん病変を早期発見して治療介入すれば、子宮頸がん・大腸がんの罹患数が減少する。

精度向上

「がん予防」分野の 分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、**がん罹患率・がん死亡率の減少**を目指す

受診率対策について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるよう検討	施策を検討する段階のため、指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
121101	より科学的かつ効率的な受診勧奨策を、関係学会や企業等の協力を得て、都道府県及び市町村と連携して推進、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上に努める	受診勧奨実施市町村数※	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
121102	【市町村及び検診実施機関】受診者が、がん検診の意義及び必要性を適切に理解できるよう努める 指針に基づくがん検診の意義・必要性について、国民が正しく理解できるよう普及啓発	普及啓発キャンペーンの実施状況（資料の実質配布枚数、イベント参加者数）	-	がん検診受診率60%達成に向けた集中キャンペーン月間実施状況調査
-	感染症発生・まん延時等にごん検診の提供体制を一時的に縮小した場合でも、状況に応じて速やかに提供体制及び受診行動を回復させることができるよう、平時における準備等の対応について検討	施策を検討する段階のため、指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
121103	職域におけるがん検診について、実施状況の継続的な把握及び適切な実施に向けた課題の整理を行い、必要に応じて、法的な位置付けも含めた対応を検討	指針に基づく検診の実施率	-	保険者データヘルス全数調査



#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
121201	検診受診率の向上	検診受診率	1031	国民生活基礎調査

※特別区を含む。
以下、同じ。



乳がん検診・子宮頸がん検診・大腸がん検診の受診率対策に関する科学的根拠(CDC)

対象者への介入(アプローチ)方法	乳がん検診	子宮頸がん検診	大腸がん検診
手紙や電話などによる勧奨・再勧奨 (コール・リコール)	推奨	推奨	推奨
スモールメディア (パンフレットやニュースレターなど)	推奨	推奨	推奨
1対1の教育 (医療従事者が行う健康教育や啓発など)	推奨	推奨	推奨
費用以外の障害の軽減 (例 休日夜間の受診、アクセス向上)	推奨	証拠不十分	推奨
自己負担費用の低減 (検診費用の補助など)	推奨	証拠不十分	証拠不十分
グループ教育 (講演など)	推奨	証拠不十分	証拠不十分
報奨のみ (少額の現金やクーポン)	証拠不十分	証拠不十分	証拠不十分
マスメディア	証拠不十分	証拠不十分	証拠不十分
複合的アプローチ	推奨	推奨	推奨

がん検診の精度管理等について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
122101	レセプトやがん登録情報を活用したがん検診の精度管理について、技術的支援等を行う	がん検診の精度管理について技術的支援を行った市町村への支援数（特別区を含む）	-	厚生労働科学研究
122102	精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行う仕組みについて検討するとともに、都道府県による指導・助言等の取組を推進 【市町村】都道府県による指導・助言等を踏まえ、引き続き、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上に取り組む	精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、実際にそれらの市町村に指導・助言等の取り組みを実施した都道府県数	-	都道府県用チェックリスト実施率調査
122103	職域におけるがん検診の実態把握に係る方法を検討した上で、職域におけるがん検診の精度管理を推進するための取組について、保険者に対する技術的支援や、産業保健総合支援センターを通じた事業場の産業保健スタッフに対する周知等を含め検討	全被用者保険者における要精密検査対象者への受診勧奨の実施割合	-	保険者データヘルス全数調査
122104	【国及び都道府県】職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進	正しいがん検診の周知のため、住民に対し、がん検診の正しい情報提供を実施した市町村数	-	検討中（市区町村用チェックリスト実施率調査）



#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
122201	精密検査受診率の向上	精密検査受診率	1032	地域保健・健康増進事業報告
122202	がん発見率の向上	がん発見率	-	地域保健・健康増進事業報告
122203	不利益の低減	偽陽性割合	-	地域保健・健康増進事業報告

科学的根拠に基づくがん検診の実施について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	諸外国における取組との経年的な比較調査を実施する仕組みについて検討	指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
123101	指針に基づくがん検診の科学的根拠に基づいた効果検証を進めるとともに、対策型検診の項目の導入に係るプロセスの明確化等について検討	指針の遵守市町村数	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
123102		指針に基づかないがん検診の中止市町村数	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
-	指針に基づかないがん検診に係る効果検証の方法について検討するとともに、指針に基づかないがん検診の効果検証を希望する関係学会や企業等と、地方公共団体のマッチングを促進する仕組みについて検討	指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
-	組織型検診の構築に向け、科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた取組により精度管理を向上させつつ、課題を整理し、その対応を検討	指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-

がんの2次予防（がん検診）					
受診率向上対策について					
アウトプット指標	121101	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
	121102	普及啓発キャンペーンの実施状況（資料の実質配布枚数、イベント参加者数）	-	がん検診受診率60%達成に向けた集中キャンペーン月間実施状況調査	
	121103	指針に基づく検診の実施率	-	保険者データヘルス全数調査	
中間アウトカム指標	121201	検診受診率	1031	国民生活基礎調査	
がん検診の精度管理等について					
アウトプット指標	122101	がん検診の精度管理について技術的支援を行った市町村への支援数（特別区を含む）	-	厚生労働科学研究	
	122102	精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、実際にそれらの市町村に指導・助言等の取り組みを実施した都道府県数	-	都道府県用チェックリスト実施率調査	
	122103	全被用者保険者における要精密検査対象者への受診勧奨の実施割合	-	保険者データヘルス全数調査	
	122104	正しいがん検診の周知のため、住民に対し、がん検診の正しい情報提供を実施した市町村数	-	検討中（市区町村用チェックリスト実施率調査）	
中間アウトカム指標	122201	精密検査受診率	1032	地域保健・健康増進事業報告	
	122202	がん発見率	-	地域保健・健康増進事業報告	
	122203	偽陽性割合	-	地域保健・健康増進事業報告	
科学的根拠に基づくがん検診の実施について					
アウトプット指標	123101	指針の遵守市町村数	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
	123102	指針に基づかないがん検診の中止市町村数	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供

(1) がん医療提供体制等

- ① 医療提供体制の均てん化・集約化について
- ② がんゲノム医療について
- ③ 手術療法・放射線療法・薬物療法について
- ④ チーム医療の推進について
- ⑤ がんのリハビリテーションについて
- ⑥ 支持療法に推進について
- ⑦ がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
- ⑧ 妊孕性温存療法について

(2) 希少がん及び難治性がん対策

(3) 小児がん及びAYA世代のがん対策

(4) 高齢者のがん対策

(5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

「がん医療」分野の 分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月閣議決定）分野別施策の概要

2. がん医療

(1) がん医療提供体制等

- 均てん化に加え、拠点病院等の役割分担と連携による地域の実情に応じた集約化を推進
- 感染症発生・まん延時や災害時等においても必要ながん医療が提供できる連携体制の整備
- がんゲノム医療の一層の推進に向けた科学的根拠の収集と、より適切なタイミングでのがん遺伝子パネル検査の実施に向けた検討
- 科学的根拠に基づく支持療法、効果的・継続的ながんのリハビリテーションの推進
- 緩和ケアが、診断時から全ての医療従事者により提供される体制整備や普及啓発の強化
- がん・生殖医療に係る人材育成と研究促進事業を通じた妊孕性温存に関するエビデンス創出

(2) 希少がん・難治性がん対策

- 高度かつ専門的な医療へのアクセス向上のための拠点病院等の役割分担と連携体制の整備の推進
- 薬剤アクセス改善に向けた研究開発や治験の推進等

(3) 小児がん・AYA世代のがん対策

- 地域の実情に応じた拠点病院等の役割分担と連携体制の整備
- 薬剤アクセス改善に向けた研究開発や治験の推進等

(4) 高齢者のがん対策

- 地域の関係機関等との連携による、個々の状況に応じた、適切ながん医療の提供体制の整備
- 高齢のがん患者に対する医療の実態把握
- 意思決定支援の取組推進

(5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

- 拠点病院等における臨床研究等の推進と適切な医療機関への紹介
- 治療薬等へのアクセス改善に向けた研究開発や治験の推進、実用化に向けた対応策の検討等

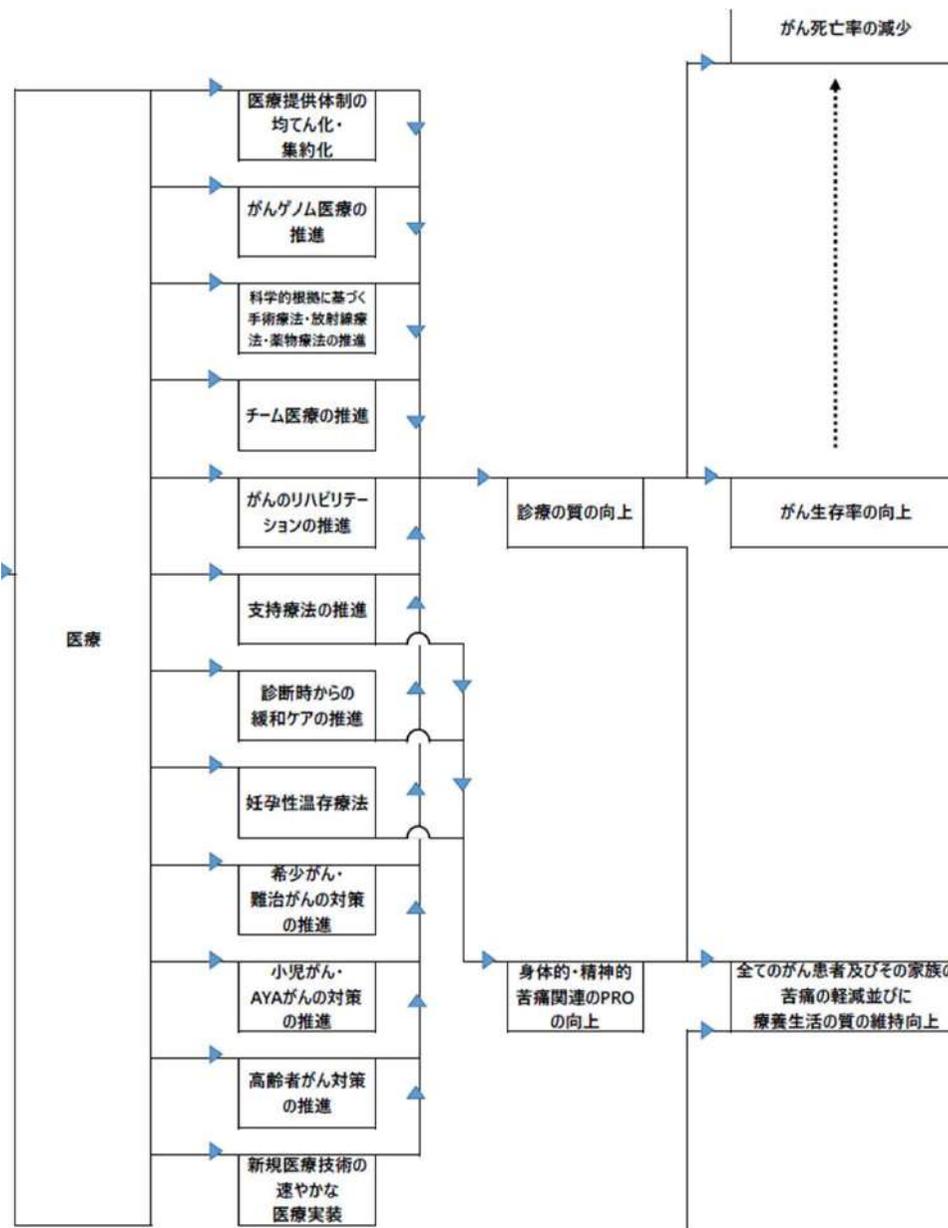
(1) がん医療提供体制等

(2) 希少がん・難治がん

(3) 小児がん・AYAがん

(4) 高齢者

(5) 新規医療技術



「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、**がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す**

分野	指標分類	#	再掲	指標	3期	データソース
2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供						
	分野別アウトカム指標	200001		がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査
		200002		小児がん患者のがんの診断・治療全般の総合評価（平均点又は評価が高い割合）	2083	小児患者体験調査
		200003		若者がん患者のがんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査
		200004		一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	2003	患者体験調査
		200005		治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	-	患者体験調査
		200006		身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3012	患者体験調査
		200007		精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3013	患者体験調査
		200008		療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3015	遺族調査
		200009		療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3016	遺族調査
		200010		在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度	3033	遺族調査のサブグループ解析（全死亡のうち在宅死亡）
		200011		希少がんについて、担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	2083	患者体験調査

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供)

(1) がん医療提供体制等

① 医療提供体制の均てん化・集約化について

- 国及び都道府県は、がん医療が高度化する中で、引き続き質の高いがん医療を提供するため、地域の実情に応じ、均てん化を推進するとともに、持続可能ながん医療の提供に向け、拠点病院等の役割分担を踏まえた集約化を推進する。その際、国は、都道府県がん診療連携協議会等に対し、好事例の共有や他の地域や医療機関との比較が可能となるような検討に必要なデータの提供などの技術的支援を行う。
- 国は、拠点病院等を中心に、患者に対するがんの告知や、インフォームド・コンセントの取得、セカンドオピニオンの提示などが適切に実施されるような体制整備を引き続き推進する。また、質の高い病理診断や細胞診断を提供するための体制の整備を引き続き推進する。
- 国及び都道府県は、感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるよう、診療機能の役割分担や、各施設が協力した人材育成や応援体制の構築等、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組を平時から推進する。
- 国は、拠点病院等、小児がん拠点病院等、がんゲノム医療中核拠点病院等が相互に連携可能となるよう検討する。

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供)

(1) がん医療提供体制等

② がんゲノム医療について

- 国は、がんゲノム医療をより一層推進する観点から、がんゲノム医療中核拠点病院等を中心とした医療提供体制の整備等を引き続き推進する。また、関係学会等と連携し、がん遺伝子パネル検査等の更なる有効性に係る科学的根拠を引き続き収集するとともに、必要な患者が、適切なタイミングでがん遺伝子パネル検査等及びその結果を踏まえた治療を受けられるよう、既存制度の見直しも含め検討する。

③ 手術療法・放射線療法・薬物療法について

(ア) 手術療法について

- 国及び都道府県は、患者が、病態や生活背景等、それぞれの状況に応じた適切かつ安全な手術療法を受けられるよう、標準的治療の提供に加えて、科学的根拠に基づく、ロボット支援手術を含む鏡視下手術等の高度な手術療法の提供についても、医療機関間の役割分担の明確化及び連携体制の整備等の取組を進める。

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供)

(1) がん医療提供体制等

③ 手術療法・放射線療法・薬物療法について

(イ) 放射線療法について

- 国及び都道府県は、患者が、病態や生活背景等、それぞれの状況に応じた適切な放射線療法を受けられるよう、標準的治療の提供に加えて、科学的根拠に基づく高度な放射線療法の提供についても、医療機関間の役割分担の明確化及び連携体制の整備等の取組を進める。
- 国は、関係学会等と連携し、標準的治療及び粒子線治療、核医学治療、画像誘導即時適応技術を用いた治療等の高度な放射線療法の安全な提供体制の在り方について検討する。

2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供) (1) がん医療提供体制等

③ 手術療法・放射線療法・薬物療法について

(ウ) 薬物療法について

- 国及び都道府県は、患者が、病態や生活背景等、それぞれの状況に応じた適切かつ安全な薬物療法を外来も含め適切な場で受けられるよう、標準的治療の提供に加えて、科学的根拠に基づく高度な薬物療法の提供についても、医療機関間の役割分担の明確化及び連携体制の整備等の取組を進める。
- 国は、国立研究開発法人国立がん研究センターや関係学会と連携し、国民が、薬物療法等に関する正しい情報を得ることができるよう、科学的根拠に基づく治療法に関する情報提供及び普及啓発を推進する。
- 国及び都道府県は、バイオ後続品に係る新たな目標を踏まえ、使用促進のための具体的な方策を検討する。

がん情報サービス編集委員会 & 都道府県癌診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会作成 がんと診断されて間もない人への情報提供資材 (Web・冊子・動画)

患者にとってのメリット

- ・必要な情報を得ることができる
 - 冊子内のQRコードを利用すれば、さらに詳しい情報が得られる

医師(医療者)にとってのメリット

- ・伝えたいけれど十分に伝えられない情報を補完できる
 - 標準治療について、セカンド・オピニオン(受けられること、しくみ)
 - 妊孕性(治療を始める前に伝える必要がある情報)
 - 就労支援(「仕事をすぐに辞めないで」) …等
- ・多職種で連携しやすくなる
 - **がん相談支援センターの紹介**: 困った時には、だれかに相談してほしい！
そんな場として利用できる「がん相談支援センター」をいち早く紹介でき、多職種で連携し、患者や家族に必要な情報提供やサポートができる

がん情報サービス ganjoho.jp

がんと診断された
あなたに
知ってほしいこと



A5判
32ページ



https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/index.html



紹介動画
3分

医療提供全般

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
211100	【国及び都道府県】地域の実情に応じ、均てん化を推進するとともに、持続可能ながん医療の提供に向け、拠点病院等の役割分担を踏まえた集約化を推進（その際、国は、都道府県がん診療連携協議会等に対し、好事例の共有や他の地域や医療機関との比較が可能となるような検討に必要なデータの提供などの技術的支援を行う）	役割分担に関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
211101	拠点病院等を中心に、患者に対するがんの告知や、インフォームド・コンセントの取得、セカンドオピニオンの提示などが適切な提供に実施されるような体制整備を引き続き推進	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	2025	患者体験調査
211102	【国及び都道府県】感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるよう、診療機能の役割分担や、各施設が協力した人材育成や応援体制の構築等、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組を平時から推進	BCPに関する議論が行われている都道府県の数 (参考) BCPを整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書
211103	拠点病院等、小児がん拠点病院等、がんゲノム医療中核拠点病院等が相互に連携可能となるよう検討	都道府県協議会に小児がん拠点病院等が参加している都道府県の数	-	現況報告書

※プログラム実施は自動的に連携される。

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
211104	医療機関の機能分担を越えた質の高い安心な医療の効率的な提供	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	-	患者体験調査

#	分分野別アウトカム	分分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2001	人口動態統計
000002	がんの生存率の向上	がん種別5年生存率	2002	全国がん登録/院内がん登録
000003	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

病理診断

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
211104	質の高い病理診断や細胞診断を提供するための体制の整備を引き続き推進	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携協議会の関係：専任の病理診断医の配置が1人以上配置されている割合、専任の細胞診断医の配置が1人以上配置されている割合）	-	現況報告書
211105	細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携協議会の関係：専任の細胞診断医の配置が1人以上配置されている割合、専任の病理診断医の配置が1人以上配置されている割合）	細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている拠点病院等の割合	-	現況報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
211104	タイムリーな病理診断	初診時から確定診断までの1ヶ月未満の人の割合	-	検診中（患者体験調査or院内がん登録+DPCorNDB）

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2001	人口動態統計
000006	がんの生存率の向上	がん種別5年生存率	2002	全国がん登録／院内がん登録
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

医療提供全般

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
211101	【国及び都道府県】地域の実情に応じ、均てん化を推進するとともに、持続可能ながん医療の提供に向け、拠点病院等の役割分担を踏まえた集約化を推進（その際、国は、都道府県がん診療連携協議会等に対し、好事例の共有や他の地域や医療機関との比較が可能となるような検討に必要なデータの提供などの技術的支援を行う）	役割分担に関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
211102	拠点病院等を中心に、患者に対するがんの告知や、インフォームド・コンセントの取得、セカンドオピニオンの提示などが適切な提供に実施されるような体制整備を引き続き推進	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	2025	患者体験調査
211103	【国及び都道府県】感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるよう、診療機能の役割分担や、各施設が協力した人材育成や応援体制の構築等、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組を平時から推進	BCPに関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
211104		(参考) BCPを整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書
212105	拠点病院等、小児がん拠点病院等、がんゲノム医療中核拠点病院等が相互に連携可能となるよう検討	都道府県協議会に小児がん拠点病院等が参加している都道府県の数※	-	現況報告書

→

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
211201	医療機関の機能分担を通じた質の高い安心な医療の効率的な提供	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	-	患者体験調査

→

※ゲノム拠点は自動的に連携される。

病理診断

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
211106	質の高い病理診断や細胞診断を提供するための体制の整備を引き続き推進	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書
211107		細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任の細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書



#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
211202	タイムリーな病理診断	初診時から確定診断までの1ヶ月未満の人の割合	-	検討中（患者体験調査or院内がん登録+ DPCorNDB）



がん医療提供体制等

医療提供体制の均てん化・集約化

アウトプット指標	211101	役割分担に関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
	211102	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	2025	患者体験調査
	211103	BCPIに関する議論が行われている都道府県の数	-	現況報告書
	211104	(参考) BCPを整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書
	211105	都道府県協議会に小児がん拠点病院等が参加している都道府県の数	-	現況報告書
	211106	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書
	211107	細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任の細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	-	現況報告書
中間アウトカム指標	211201	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	-	患者体験調査
	211202	初診時から確定診断までが1ヶ月未満の人の割合	-	検討中（患者体験調査or院内がん登録+DPC or NDB）

